

**BenQ**

FP241W

24" ワイドスクリーンLCD モニタ  
ユーザーズガイド

ようこそ

## 著作権

Copyright © 2007 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

## 免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

**モニタが最高の性能で動作するよう、またモニタをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。**

### 電源についての安全対策

- AC プラグにより、AC 電源と本装置の接続が解除されます。
- 電源コードは、プラグ着脱可能な装置では電源停止デバイスとして機能します。電源コンセントは、本装置の近くに設置され、すぐに利用できる状態になっている必要があります。
- 本製品は、ラベルのマークに示されている電源タイプで動作させる必要があります。利用可能な電源のタイプが不明の場合は、取扱店または地域の電気会社にお問い合わせください。

### お手入れと清掃

- 清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニタの電源コードをはずしてください。LCD モニタの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニタは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が行われないう限り、内蔵させないようにしてください。
- 本製品内に異物を押し込んだり、液体をこぼしたりしないようにしてください。

### 保守

本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。

# 目次

はじめに .....	4
モニタに慣れる .....	6
前面 .....	6
背面 (1) .....	6
背面 (2) : プラグとソケットの位置 .....	7
右側面 .....	7
モニタの組み立て .....	8
モニタの高さと角度の調整 .....	12
モニタの回転 (オプション) .....	13
BenQ モニタの特長を生かすために .....	16
新しいコンピュータにモニタをインストールするには .....	17
既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには .....	18
Windows Vista システムへのインストール方法 .....	19
Windows XP システムにインストールするには .....	20
スクリーンの解像度の調整方法 .....	22
Windows では次の手順にしたがって解像度を変更することができます。 ...	22
リフレッシュレートの調整方法 .....	23
Windows では次の手順にしたがってリフレッシュレートを変更することができます。 .....	23
画像の最適化 .....	24
モニタの調整 .....	25
コントロールパネル .....	25
OSD (オンスクリーン ディスプレイ) メニューの構造 .....	26
ホットキー モード .....	28
メインメニュー モード .....	32
トラブルシューティング .....	44
よくある質問 (FAQ) .....	44
それでも具合が悪いときは .....	45
対応する PC タイミング .....	46
仕様 .....	47

# 1. はじめに

FP241W はビデオ解像度 1920 x 1200 でディスプレイを最適化します。お使いになるグラフィックカードが 1920 x 1200 の解像度に対応していることを確認してください。

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニタ	
モニタ スタンド	
クイック スタート ガイド	
CD-ROM ディスク	
電源コード (地域によって製品図が異なる場合があります)	
信号ケーブル: D-Sub	

信号ケーブル: DVI-D (オプション)	 A black DVI-D signal cable with two DVI-D connectors, one on each end, and a coiled cable body.
USB ケーブル (オプション)	 A black USB cable with a USB-A connector on one end and a USB-B connector on the other, with a coiled cable body.

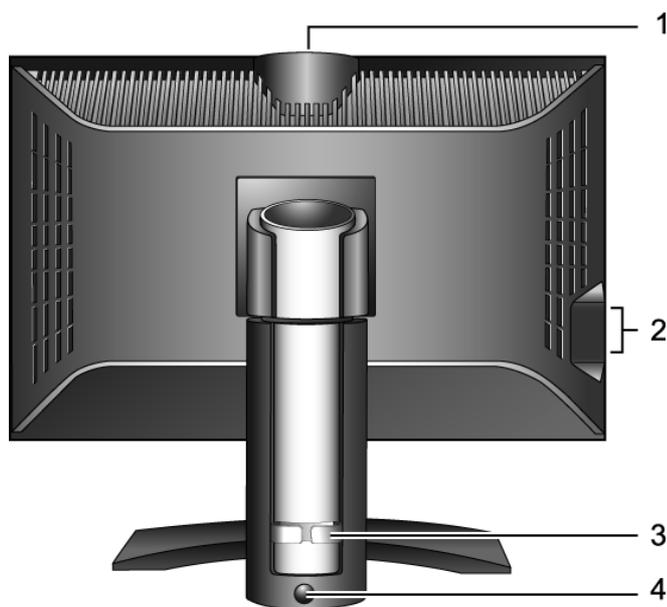
 モニタの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。  
専用の発泡スチロールは、移動中にモニタを保護するのに適しています。

## 2. モニタに慣れる

### 前面

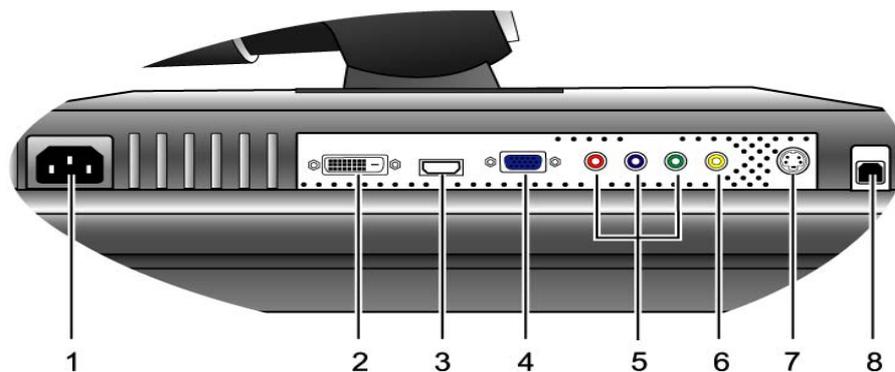


### 背面 (1)



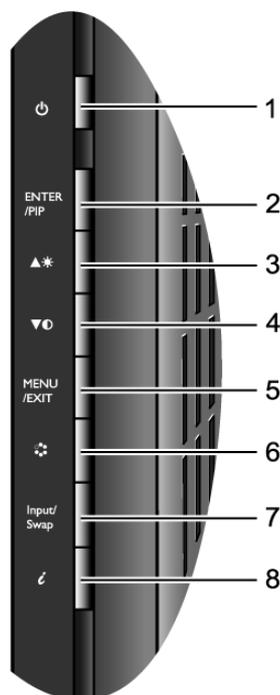
1. Web カメラ (オプション) 用 USB デバイスポート
2. 内蔵 USB ハブ接続用 USB デバイスポート
3. ケーブルホルダー
4. ロック / ロック解除ボタン

## 背面 (2) : プラグとソケットの位置



- |                 |                                       |
|-----------------|---------------------------------------|
| 1. AC 電源コネクタ    | 5. コンポーネント入力コネクタ                      |
| 2. DVI-D 入力コネクタ | 6. コンポジット入力コネクタ                       |
| 3. HDMI 入力コネクタ  | 7. S-Video 入力コネクタ                     |
| 4. D-Sub 入力コネクタ | 8. コンピュータの USB ポートに接続するための USB ハブソケット |

## 右側面



- |               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| 1. 電源         | 5. MENU (メニュー) / EXIT       |
| 2. ENTER/ PIP | 6. モード                      |
| 3. ▲ / 輝度     | 7. Input / Swap (入力 / 切り替え) |
| 4. ▼ / コントラスト | 8. ikey                     |

☞ これらのキーについての詳細は、[25 ページの「コントロールパネル」](#)を参照してください。

### 3. モニタの組み立て

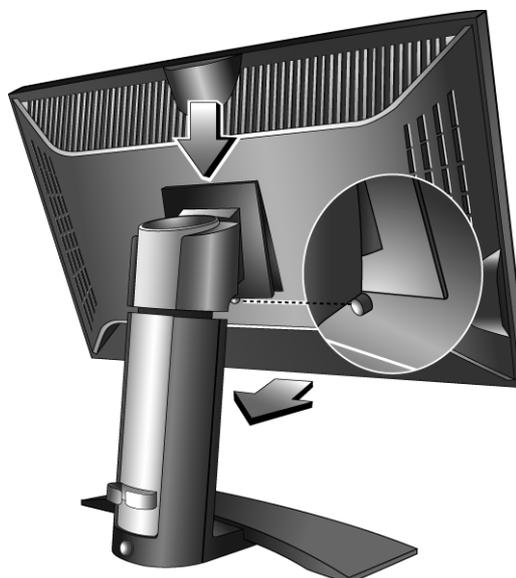
☞ コンピュータの電源がオンになっている場合は、モニタを設置する前にオフにしてください。指示があるまで、モニタを接続したり、モニタの電源を入れたりしないでください。

1. パッケージからアイテムを取り出し、モニタを安定した場所に配置してください。



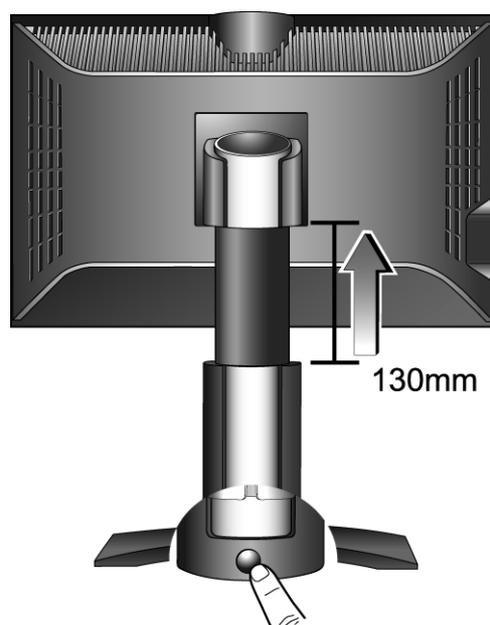
2. モニタをスタンドに取り付けて、ロックしてください。

モニタの背面にある溝と、モニタスタンドにある突起を合わせてカチッという音が聞こえたら、モニタがスタンドにロックされたことを意味しています。



3. モニタを限界まで引き伸ばして傾け、回転させます。

この状態ではモニタは最も低い位置にロックされています。モニタスタンドの底面にあるロック/ロック解除ボタンを押して、モニタを最高の高さまで引き上げる必要があります。



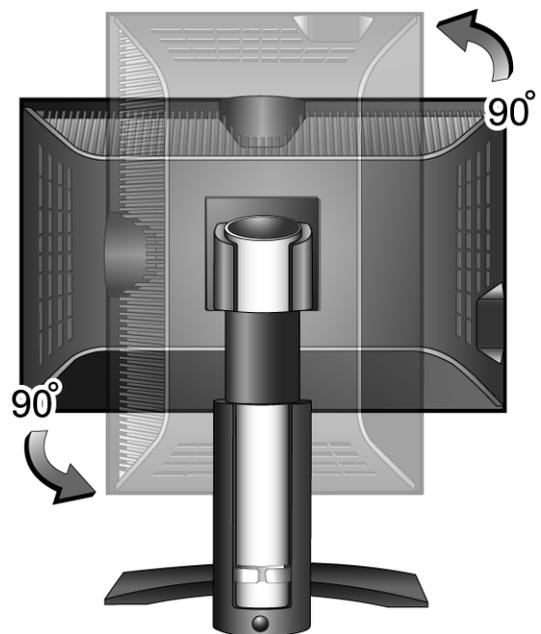
次にモニタを傾けます。

- ⚠ 回転させるときにLCDディスプレイの角がモニターベースに当たらないように、まずモニタを最高の高さまで引き上げてください。



図に示す通り、モニタを90度左回りに(背面側から)回転させます。

- 💡 モニタを縦置き(横置き)にする方法については、13ページの「[モニタの回転\(オプション\)](#)」を参照してください。



#### 4. PC ビデオケーブルを接続します。

☞ 1 台の PC に DVI-D ケーブルと D-Sub ケーブルを同時に使用しないでください。両方のケーブルを同時に使用できるのは、適切なビデオ規格を備えた 2 台の PC に接続する場合のみです。

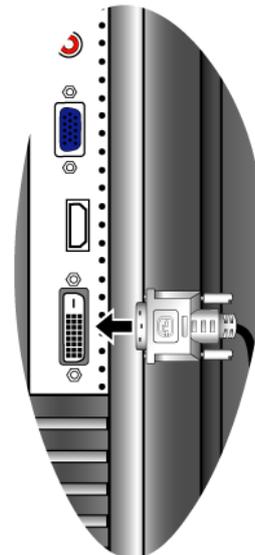
DVI-D ケーブルを使ってモニタの DVI-D ソケットと、コンピュータの DVI-D ポートを接続します（オプション）。

💡 ソースビデオとデジタル LCD モニタやプロジェクタを直接接続する場合は、DVI-D フォーマットを使用します。デジタルビデオ信号は、アナログ信号よりも優れた品質を実現します。

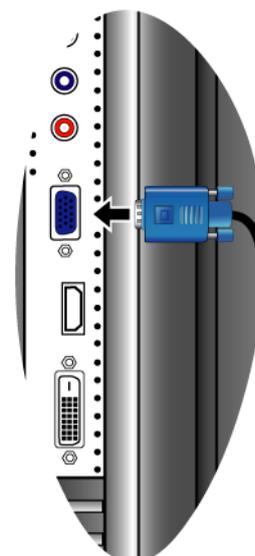
D-Sub ケーブル（フェライトフィルタが付いていない方）をモニタの D-Sub ソケットに繋がます。  
D-Sub ケーブル（フェライトフィルタが付いている方）をコンピュータのビデオ D-Sub ソケットに繋がます。

使用中にプラグが外れてしまわないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。

あるいは

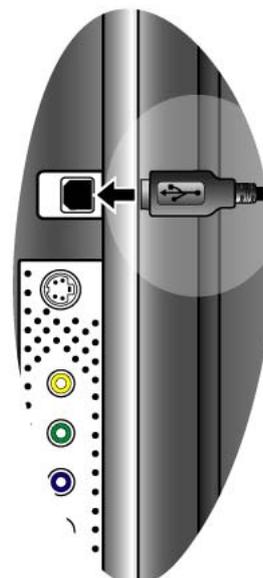


または



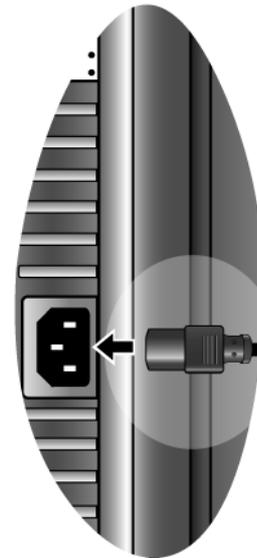
#### 5. USB ハブケーブルを接続します。

モニタの背面にある USB ソケットとコンピュータの USB ポートを USB ケーブルで繋がます。



6. 電源ケーブルをモニタに接続します。

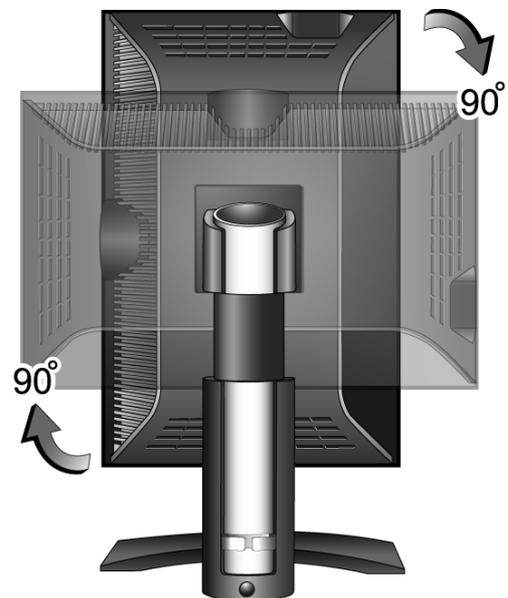
電源コードをモニタの背面にある「POWER IN」と記載されたソケットに接続します。電源コードのプラグはまだこの時点ではコンセントに接続しないでください。



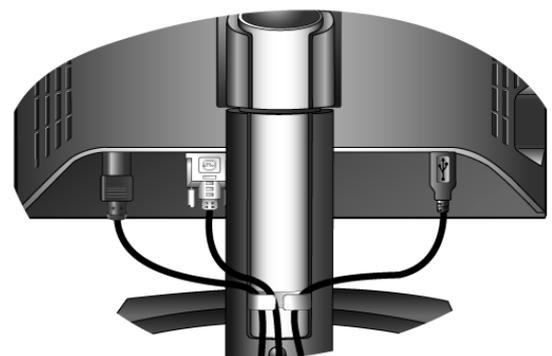
7. モニタを元の状態に戻します。

図に示す通り、モニタを時計周りに 90 度 (背面側から) 回転させて、モニタを適切な角度に調整してください。

 照明反射により画面が見にくくなるのを防止するために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。

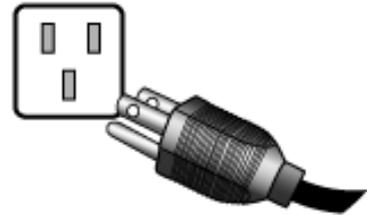


8. ケーブルホルダーを使ってケーブルを整理します。  
ケーブル類を 1 つにまとめて、モニタスタンドの裏側にあるケーブルホルダーに通します。



9. 電源を入れます。

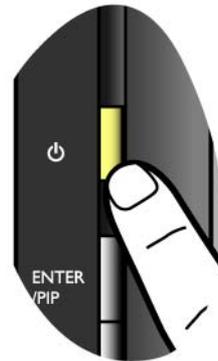
電源ケーブルのプラグを近くのコンセントに差し込みます。



地域によって製品図が異なる場合があります。

モニタの右端にあるキー列の一番上の電源キーを押して、モニタの電源を入れます。

コンピュータの電源も入れて、セクション4 16ページの「BenQ モニタの特長を生かすために」の手順にしたがってモニタソフトウェアをインストールしてください。

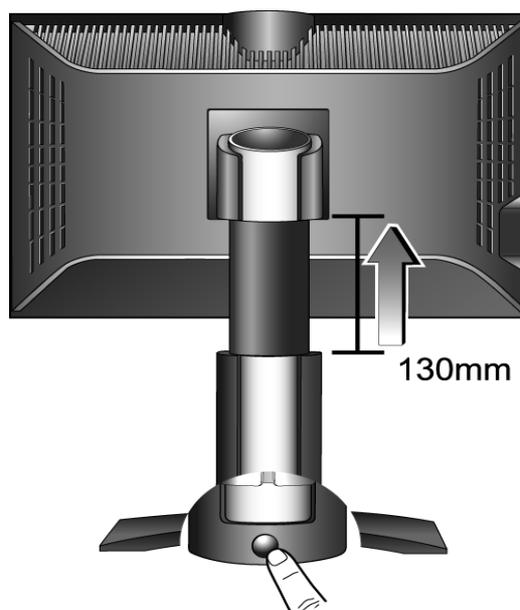


## モニタの高さと角度の調整

### モニタの高さを調整するには

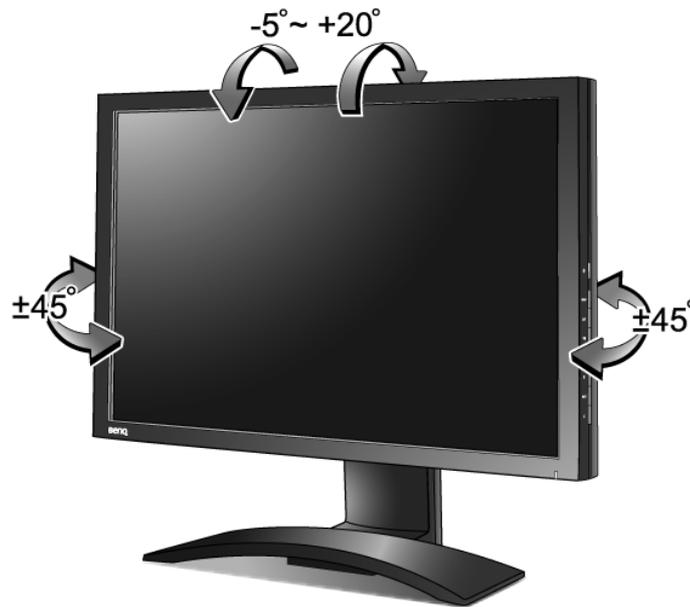
ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、スタンドを任意の高さまで引き伸ばします。スタンドは最高で13cmまで引き伸ばすことができます。

モニタがロックされている場合は、スタンドの底面にあるロック / ロック解除ボタンを押して任意の高さに引き伸ばしてください。



## モニタの角度を調整するには

スクリーンを快適な状態で見られるようにするには、モニタを上向きに 20 度、下向きに -5 度の範囲で傾斜させ、また左右 45 度以内の範囲で調整してください。



## モニタの回転 (オプション)

本LCDモニタは特定のデスクトップアプリケーションを使用する場合もスクロールせずに画面を見ることができるよう、縦長表示にも対応しています。

ディスプレイを縦長表示にするために回転させる前に、同梱されているCDからPivotソフトウェアをインストールしてください。

### Pivot ソフトウェアをインストールするには

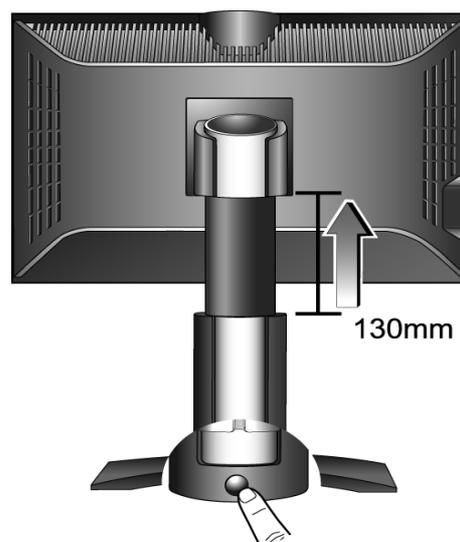
1. 同梱されているCDのPivotフォルダからSTART\_PIVOT.EXEファイルを実行します。
2. 画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください。
3. システムを再起動後、システムトレイにPivot Software Controlアイコン  が表示されます。このアイコンをクリックし、90度回転  を選択すると、画面が回転します。これをキャンセルするには、0度回転  を選択してください。
4. 電源を切り、次の手順にしたがってください。

## ディスプレイを回転させるには

1. モニタを最高の高さまで引き伸ばし、傾斜させます。ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、スタンドを最高の高さまで引き伸ばします。

モニタが最も低い位置にロックされている場合は、モニタスタンドの底面にあるロック/ロック解除ボタンを押して、モニタを最高の高さまで引き上げる必要があります。

- ☞ モニタを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、スタンドが縦方向に伸びるはずですが、

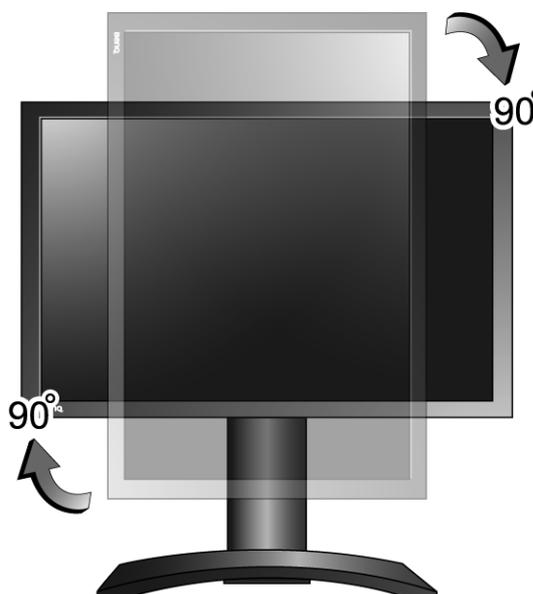


次にモニタを傾けます。



2. 図に示す通り、モニタを右回りに 90 度回転させます。

- ⚠ 回転させるときに LCD ディスプレイの角がモニターベースに当たらないように、まずモニタを最高の高さまで引き上げてください。



3. モニタを適切な角度に調整します。



## 4. BenQ モニタの特長を生かすために

BenQ FP241W LCD モニタは先進技術が投入された最新のデバイスです。最新のLCD ディスプレイテクノロジーを使用しているほか、2ポート付きUSB 2.0ハブが用意されています。このハブにより、コンピュータのUSB 2.0ポートを1つ使用するだけで(他のポートは他のデバイス用に空けておけます)、USBデバイスにすばやく、手軽にアクセスすることが可能です。

USBハブにはUSBキーボード、USBマウス、USB webカメラなど、一度にこれらすべてを接続することができます。またキーボードやマウスを直接コンピュータに接続している場合は、モニタのUSBポートにデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、USBリーダー、USBプリンタ、USBメモリスティックほか、あらゆるUSBデバイスを接続することができます。

モニタケーブルを本マニュアルのセクション3の **モニタの組み立て** に説明されている手順にしたがって接続し、コンピュータとモニタの電源を入れてください。その後、USB、Windows、BenQ LCDモニタのUSBハブをプラグアンドプレイで使用することができます。

Windows XP以降のOSには、USB機能が統合されています。USBデバイスを自動的に検出、識別し、必要なドライバをインストールします。使用するUSBデバイスに製造元からドライバが提供されている場合や、そのデバイス専用のソフトウェアがある場合は、そのドライバがある場所を指定するだけでWindowsが自動的にそれをインストールします。

BenQ カラー LCD フラットスクリーンモニタの利点を最大限に生かすには、BenQ LCD Monitor CD-ROMに格納されているBenQ LCD Monitor ドライバをインストールする必要があります。

BenQ LCD モニタを接続、インストールする状況に応じて、BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする手順が変わります。これらの状況とは、使用するMicrosoft Windowsのバージョン、モニタを接続し、ドライバをインストールするコンピュータが新しいものであるかどうか(既存のモニタドライバが存在しないかどうか)、または既存のドライバを新しいモニタ用にアップグレードするかどうか(既存のモニタドライバが存在する)などを指します。

いずれの場合にしても、次回コンピュータの電源を入れるとき(コンピュータにモニタを接続した後)、Windowsは自動的に新しい(または異なる)ハードウェアを識別し、新しいハードウェアが検出されましたウィザードを起動します。

モニタモデルを選択するように要求される場所まで、ウィザードの指示にしたがってください。このとき、ディスク使用ボタンをクリックしてBenQ LCD Monitor CD-ROMを挿入し、適切なモニタモデルを選択します。自動インストール(新規ドライバ)とアップグレード(既存のドライバ)の手順については、次のセクションをお読みください。

- 17 ページの「**新しいコンピュータにモニタをインストールするには**」

- 18 ページの「**既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには**」

☞ ログインするためにユーザー名とパスワードの入力が必要なWindowsコンピュータにモニタドライバをインストールするには、管理者の権限でログオンするか、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。また、セキュリティ設定が施されたネットワークにコンピュータを接続している場合は、ネットワークポリシーによりコンピュータにドライバをインストールできない場合があります。

## 新しいコンピュータにモニタをインストールするには

ここでは、まだモニタドライバが何もインストールされていない新しいコンピュータで BenQ LCD モニタドライバを選択し、インストールする手順を説明します。この手順は未使用のコンピュータで、BenQ LCD モニタが初めて接続するモニタである場合にのみしたがってください。

☞ すでに他のモニタを接続したことがある、使用済みのコンピュータに BenQ LCD モニタを接続する場合は (すでにモニタドライバがインストールされている場合)、この手順にしたがうことはできません。「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」の説明にしたがってください。

1. セクション3「[8 ページの「モニタの組み立て」](#)」の手順にしたがってください。  
Windows が起動すると、新しいモニタが自動的に検出され、**新しいハードウェアが検出されましたウィザード**が起動します。**ハードウェアドライバのインストールオプション**が表示されるまで、画面の指示にしたがってください。
2. BenQ LCD Monitor CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入します。
3. **デバイスに最適なドライバを検索するオプション**をチェックし、**次へ**をクリックします。
4. **CD-ROM drives** オプションをチェックし (その他のオプションはチェックしない)、**次へ**をクリックします。
5. ウィザードが "BenQ FP241W" というモニタ名を選択することを確認したら、**次へ**をクリックします。
6. **完了**をクリックします。
7. コンピュータを再起動します。

## 既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには

ここでは、Microsoft Windows コンピュータ上で既存のモニタドライバを手動で更新する方法を説明します。モニタドライバは現段階で Windows XP および Windows Vista との互換性がテストされています（推奨のみ）。

☞ このモデルの BenQ LCD モニタドライバは他のバージョンの Windows と問題なく作動するはずですが、本書作成段階において他のバージョンの Windows でこれらのドライバのテストが完了しておらず、正常な作動を保証することはできません。

モニタドライバをインストールするには、BenQ LCD Monitor CD-ROM から使用するモニタモデル用の適切な情報ファイル (.inf) を選択し、Windows に相当するドライバを CD からインストールさせる必要があります。必要な作業は自動的に行われます。Windows には自動的に作業を行い、ファイル選択とインストール手順をガイドしてくれるデバイスドライバのアップグレードウィザードが用意されています。

詳細は、を参照してください。

- [19 ページの「Windows Vista システムへのインストール方法」。](#)
- [20 ページの「Windows XP システムにインストールするには」。](#)

## Windows Vista システムへのインストール方法

1. **Display Settings (画面の設定)** を開きます。  
デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから **Personalize (カスタマイズ)** を選択します。  
**Personalize appearance and sounds (表示とサウンドをカスタマイズ)** ウィンドウから **Display Settings (画面の設定)** を選択します。  
すると **Display Settings (画面の設定)** ウィンドウが開きます。
2. **Advanced Settings (詳細設定)** ボタンをクリックします。  
すると **Generic PnP Monitor Properties (一般 PnP モニタのプロパティ)** ウィンドウが開きます。
3. **Monitor (モニタ)** タブをクリックし、次に **Properties (プロパティ)** ボタンをクリックします。
4. **User Account Control (ユーザーアカウント コントロール)** ウィンドウで **Continue (続行)** をクリックします。
5. **Driver (ドライバ)** タブをクリックし、次に **Update Driver (ドライバの更新)** ボタンをクリックします。
6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
7. **Update Driver Software (ドライバソフトウェアの更新)** ウィンドウで "**Browse my computer for driver software (コンピュータからドライバソフトウェアを探す)**" オプションを選択します。
8. "**Browse (参照)**" をクリックし、CD から **Driver > Windows Vista > FP241W** を選択した後、**Next (次へ)** ボタンをクリックします。  
すると適切なモニタドライバファイルがコンピュータにコピーされ、インストールされます。
9. **Close (閉じる)** をクリックしてください。  
BenQ LCD モニタドライバが必要な作業を行いますので、Windows Vista を再起動する必要はありません。

## Windows XP システムにインストールするには

### 1. 画面のプロパティを開きます。

画面のプロパティは、Windows デスクトップから選択するのが一番簡単です。デスクトップを右クリックし、ポップアップメニューから**プロパティ**を選択します。また画面のプロパティはコントロールパネルから開くこともできます。

Windows XP バージョンでは、コントロールパネルはメインのスタートメニューから直接選択できます。

表示されるメニューオプションは、システムで選択した表示タイプによって異なります。

- ・ クラシックビューでは、**スタート | コントロールパネル | 画面**をクリックします。
- ・ カテゴリービューでは、**スタート | コントロールパネル | 表示とテーマ | 画面の解像度を変更**をクリックします。

すると画面のプロパティが開きます。

### 2. 設定タブを選択し、詳細ボタンをクリックします。

すると詳細画面のプロパティが開きます。

### 3. モニタタブをクリックし、リストから[プラグアンドプレイ モニタ]を選択します。

1 台のモニタしかリストされていない場合は、そのモニタがすでに選択されています。

### 4. プロパティボタンをクリックします。

すると画面のプロパティが開きます。

ドライバの製造元が「BenQ」と表示されており、新しいモニタと同じモデル名が表示されている場合は、正しいドライバがすでにインストールされていますので何もすることはありません。これらのプロパティウィンドウを閉じてください。

ただし、製造元が「BenQ」と表示されていない場合、または正しいモデル名が表示されていない場合は、続けて次の手順にしたがってください。

### 5. ドライバタブをクリックし、ドライバの更新ボタンをクリックします。

すると**ハードウェアの更新ウィザード**が表示されます。ウィザードの手順にしたがってください。

### 6. コンピュータのCDドライブにこのBenQ LCD Monitor CD-ROMを挿入します。

### 7. リストまたは指定した場所からインストールオプションを選択し、次へをクリックします。

### 8. これらの場所から最適なドライバを検索オプションと、リムーバブルメディアを検索オプションを選択し、次へをクリックします。

ウィザードがドライバと、ステップ6で挿入したBenQ LCD Monitor CDを検出しますのでしばらくお待ちください。検出後は、このモニタモデルに合ったBenQドライバがCDから検出、選択されています。この場合、「d:\Driver\Windows XP\FP241W\BenQFP241W.inf」またはそれに似た場所に「BenQ FP241W」と表示されます。

Windows XP Professional x64 Edition を搭載したシステムをお使いになる場合は、“Driver ドライバ” フォルダから “d:\Driver\Windows XP\FP241W\For Pro 64bit” と表示されているフォルダをダブルクリックしてください。

 CDドライブのドライブ文字は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。D:、E:、F: かもしれませんし、それ以外の文字かもしれません。

9. ファイル名 **BenQ FP241W** を選択(クリック)し、次へボタンをクリックします。  
コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。
10. 完了をクリックします。  
するとウィザードが終了し、**画面のプロパティ**に戻ります。今回は **BenQ FP241W のプロパティ**に名前が変わっています。
11. 閉じますかの後、**OK** をクリックします。  
**画面のプロパティ**を閉じます。後は何もしなくても BenQ LCD モニタドライバが直ちに作動しますので、Windows XP を再起動する必要はありません。

## 5. スクリーンの解像度の調整方法

LCDテクノロジーの特性により、画像の解像度が常に固定されています。ディスプレイを最高の状態で使用するには、縦横比 16:10 にしてディスプレイの解像度を 1920 x 1200 ピクセルに設定してください。画像が最も鮮明に表示されるこの解像度を、「ネイティブ解像度」または最高解像度と呼びます。最低解像度は補間回路を介して全画面で表示されます。イメージタイプとその初期の解像度によっては、補間解像度でピクセルの境界部分がちらつく場合があります。

- ☞ LCD 技術の特性を最大限生かすには、下記に説明する手順にしたがって PC 画面の解像度を 1920 x 1200 に設定してください。この解像度に対応していない PC ビデオカードもありますのでご注意ください。その場合は、ビデオカードメーカーのホームページから、使用するビデオカードにこの解像度に対応させる最新アップデートドライバをダウンロードしてください。新しいハードウェアビデオ解像度に対応できるように、ソフトウェアビデオドライバは頻繁に更新され、ダウンロードできるようになっています。場合によっては、このモニタの解像度に対応できるように PC ビデオカードを交換する必要があるかもしれません。

Windows では次の手順にしたがって解像度を変更することができます。

1. **画面のプロパティ**を開き、**設定タブ**を選択します。  
Windows デスクトップを右クリックしてポップアップメニューから**プロパティ**を選択すると、**画面のプロパティ**を選択できます。
2. 「画面の領域」セクションのスライダを使って解像度を調整してください。  
1920 x 1200 を選択し、**適用**をクリックします。
3. OK の後、**はい**をクリックします。
4. **画面のプロパティ**を閉じます。

使用する入力ソースが縦横比 16:10 に対応していない場合は、表示されたイメージが引き伸ばされたり、歪んだりする場合があります。元の縦横比を維持するには、[画面モード] でイメージのスケールオプションを調整してください。イメージのサイズは [Overscan] 設定で変更できません。詳細は、[42 ページの「画面モード」](#)と [38 ページの「Overscan」](#)を参照してください。

## 6. リフレッシュレートの調整方法

LCD ディスプレイでは技術的にちらつきが生じることはありませんので、リフレッシュレートを最高値に設定する必要はありません。最適なオプションは、コンピュータにすでに設定されている工場設定モードです。本書の仕様セクションに、工場設定モードの表が記載されています：  
[46 ページの「対応する PC タイミング」](#)

 ネイティブ解像度 1920 x 1200 には、60 Hertz を選択できます。

Windows では次の手順にしたがってリフレッシュレートを変更することができます。

1. コントロールパネルで画面アイコンをクリックします。
2. 画面のプロパティで設定タブを選択し、詳細ボタンをクリックします。
3. アダプタタブを選択し、仕様欄にリストされている工場設定モードのいずれかに合ったりフレッシュレートを選択してください。
4. 変更、OK、次にはいをクリックします。
5. 画面のプロパティを閉じます。

## 7. 画像の最適化

アナログ入力（D-Sub）から画像を最適化するために最も簡単な方法は、[ikey] 機能を使うことです。コントロールパネルで [ikey] を押し、モニタが自動的に調整されます。

 デジタルケーブル（DVI）を使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続する場合は、[ikey] と自動調整機能は無効になります。なぜなら、モニタは自動的に最高の画像を表示するからです。



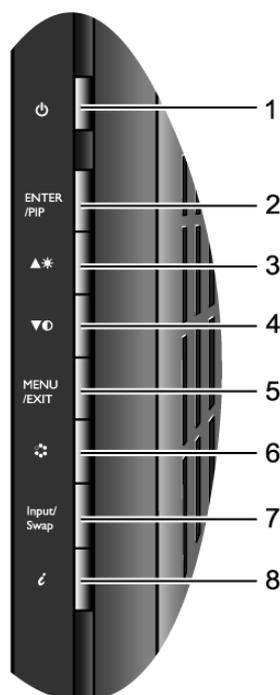
[ikey] 機能を使用するときには、コンピュータに接続したグラフィックカードがモニタ本来の解像度（1920 x 1200）に設定されていることを確認してください。

幾何学メニューからは、いつでも画面の幾何設定を手動で調整することができます。これを簡単に行えるように、スクリーンテスト画像ユーティリティが用意されています。これを使用することによって、画面の色、グレースケール、ラインのグラデーションなどを確認することができます。

1. CD-ROMからテストプログラム auto.exe を起動してください。変更結果を調べるには、これが最も良い方法です。OSのデスクトップなど、他のイメージを使用することもできます。それでも、auto.exe を起動するとテストパターンが表示されますので、auto.exe を使用されるようお勧めします。
2. モニタの [ikey] ボタンを押してください。
3. コントロールパネルで “MENU” を押し、OSD にアクセスします。
4. 縦にノイズが走っている場合（縦のラインがゆらめくカーテン効果に似ています）は ▲ か ▼ キーを押して、“Pixel Clock” を選択した後 “ENTER” キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで ▲ か ▼ キーを押します。
5. 横にノイズが走っている場合は ▲ か ▼ キーを押して、“Phase” を選択した後、“ENTER” キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで ▲ か ▼ キーを押します。

## 8. モニタの調整

### コントロールパネル



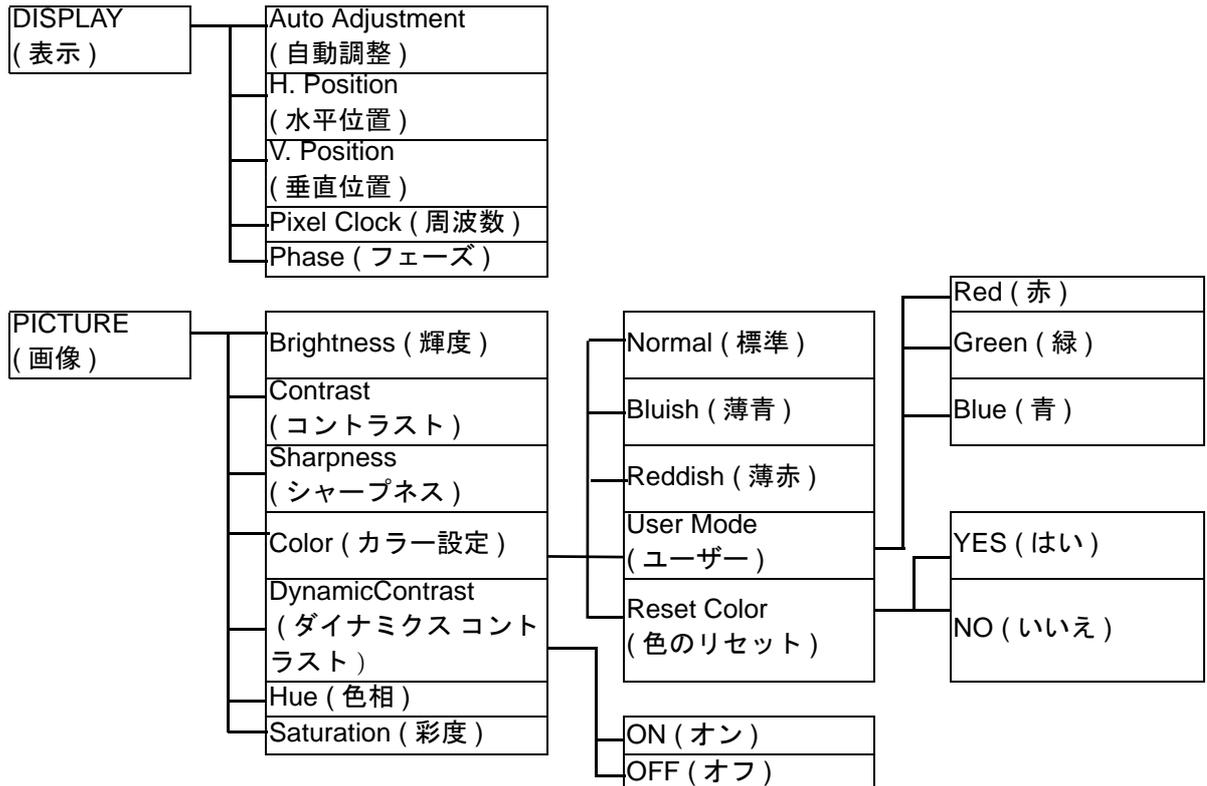
1. 電源：電源のオン/オフを切り替えます。
2. ENTER/PIP キー：サブメニューからアイテムを選択します。このキーは PIP (Picture-in-Picture) 機能を有効にして、PIP ウィンドウのビデオ入力ソースを選択するためのホットキーでもあります。
3. ▲ (上向き) キー：調整アイテムや値を上へ / 増加させます。このキーは輝度のホットキーでもあります。
4. ▼ (下向き) キー：調整アイテムや値を下へ / 縮小させます。このキーはコントラストのホットキーでもあります。
5. MENU (メニュー) /EXIT キー：OSD メインメニューを有効にして、前のメニューに戻るか、OSD を終了します。
6. モードキー：スタンダード、ムービー、ダイナミクス、フォト、sRGB などのモードを切り替えます。
7. Input /Swap (入力 / 切り替え) キー：メインウィンドウに表示するビデオ信号を手動で切り替えたり、メインウィンドウと PIP ウィンドウの入力信号を切り替えたりします。
8. *i*key：垂直位置、フェーズ、水平位置、周波数を自動で調整します。



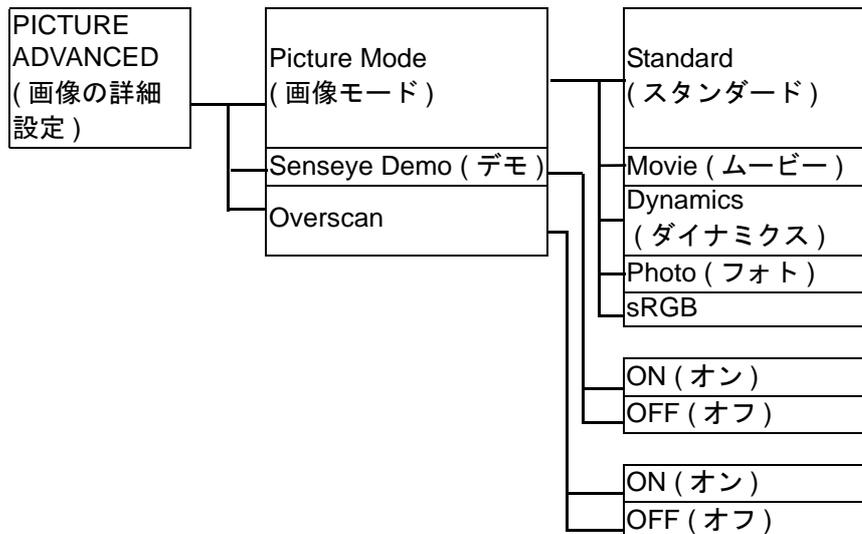
OSD = オンスクリーン ディスプレイ

ホットキーを押すと設定値を調整するためのグラデーションが表示されます。これは OSD メニューが表示されていない場合のみ使用することができます。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。詳細は、[28 ページの「ホットキーモード」](#)を参照してください。

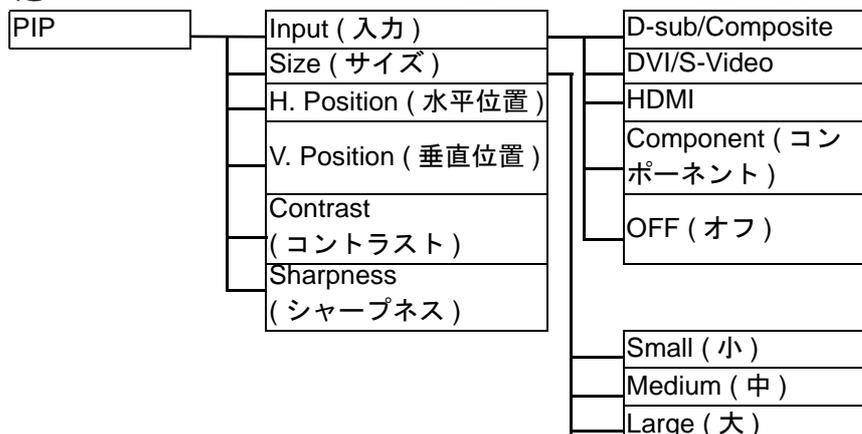
# OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューの構造

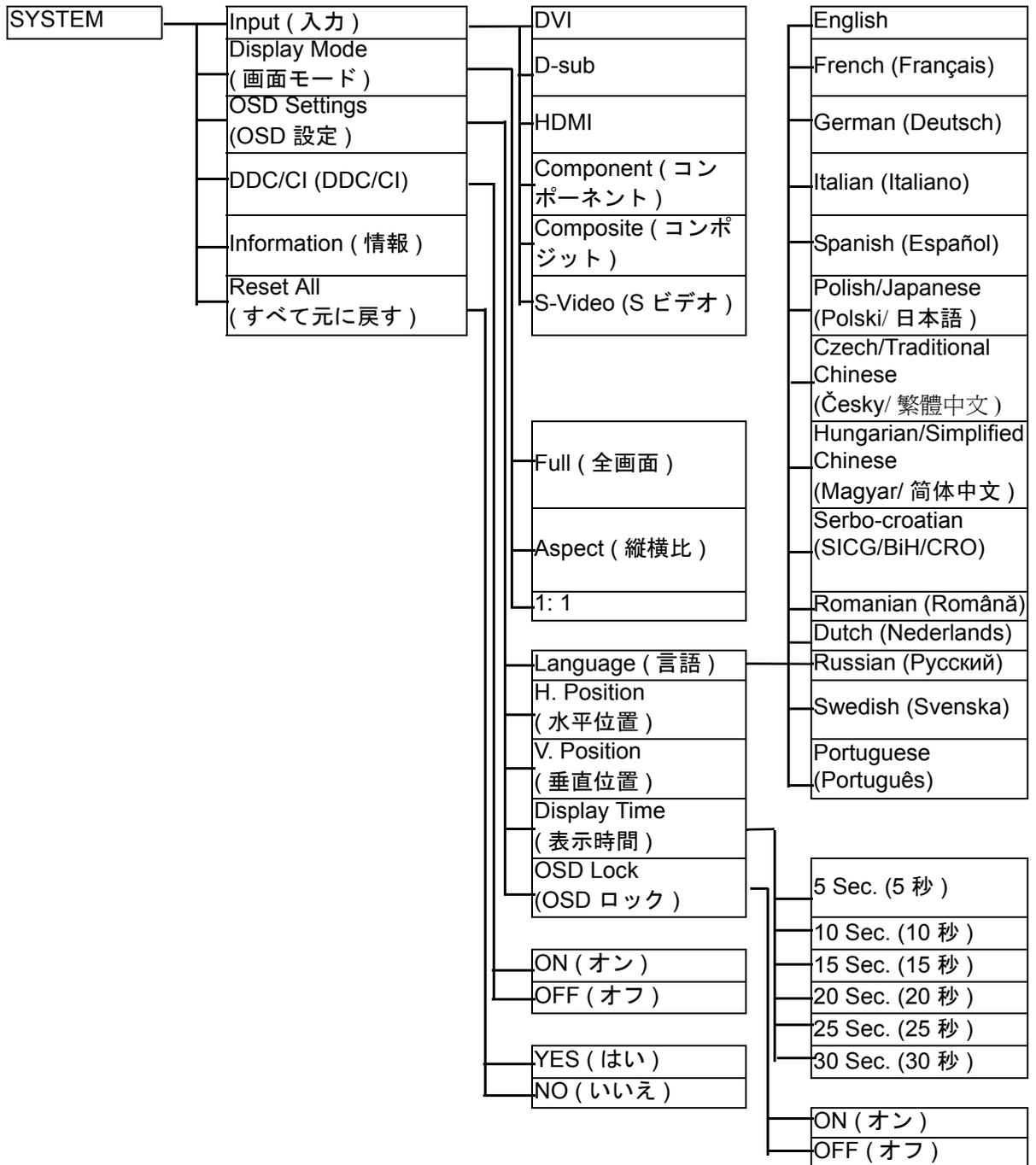


☞ 入力ソースが D-Sub または DVI-D のときには、色相機能と彩度機能は使用できません。



☞ 入力ソースが D-Sub か DVI-D の場合は、Overscan 機能は使用できません。





## ホットキーモード

モニタキーは、メニューが画面に表示されていないときに特定の機能を直接実行するためのホットキーの役割を果たします。

### 輝度ホットキー



▲ キーを押すと輝度インジケータが表示されます。さらに ▲ キーを押すと輝度が高まり、▼ キーを押すと輝度が低くなります。メニューを終了するには MENU (メニュー) キーを押してください。

### コントラストホットキー



▼ キーを押すとコントラストインジケータが表示されます。さらに ▲ キーを押すとコントラストが高まり、▼ キーを押すとコントラストが低くなります。メニューを終了するには MENU (メニュー) キーを押してください。

### PIP ホットキー



ENTER キーを押して PIP 画面を有効化し、PIP ウィンドウに表示するソースを選択します。

このキーを押し続けると、ビデオ入力ソースを切り替えたり、PIP 機能をオフにしたりすることができます。

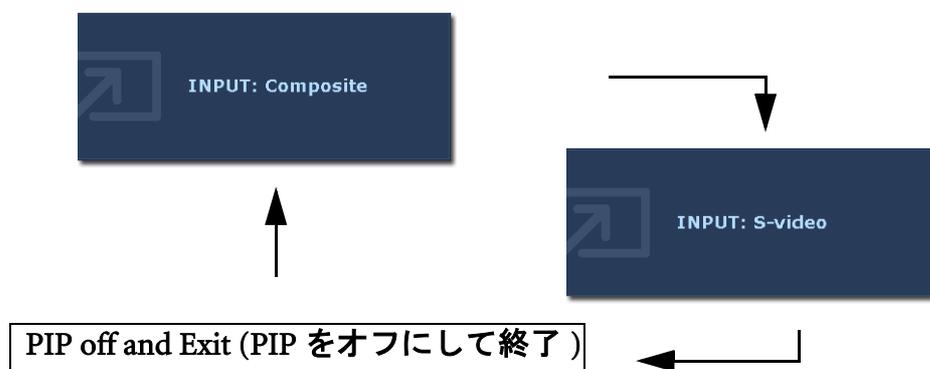
任意の入力ソースのメッセージが表示されたら、キーを放して PIP 入力ソースを設定します。メッセージは約 3 秒間表示されず。

設定は直ちに反映されます。

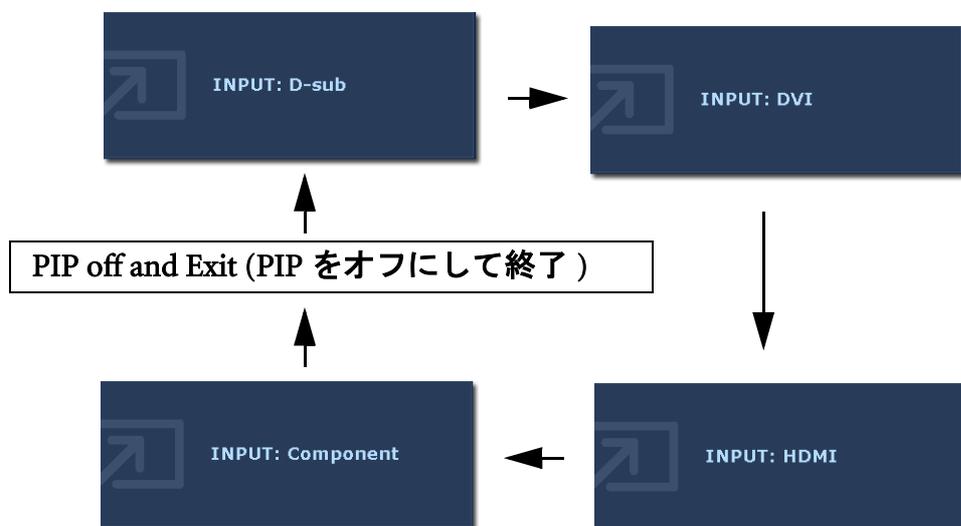
- このコマンドを実行すると、2 番目のソースの画像を表示します。したがって、1 台のコンピュータグラフィック /PC ビデオソース (D-sub、DVI、コンポーネント、HDMI\* またはコンポーネント) と、1 台のビデオソース (コンポジットか S-Video) の画像を同時に見ることができます。PIP 機能を使って 2 台のコンピュータグラフィック /PC ビデオソース、または 2 台のビデオソースを表示することはできません。

💡 \*HDMI (High Definition Multimedia Interface) は初めて業界でサポートされた、圧縮をかけない、オーディオ / ビデオソースと、オーディオあるいはビデオモニター間の完全デジタルオーディオ / ビデオインターフェースです。他のコネクタとは異なり、HDMI コネクタは同一ケーブルでビデオ信号とオーディオ信号の両方を転送することができ、未圧縮のオーディオおよびビデオを転送して高品質な画像を再現します。この規格はデジタル TV (DTV)、セットトップボックス、DVD プレーヤー、DVD レコーダなどでサポートされています。FP241W の HDMI コネクタは、ビデオソースにしか対応していません。

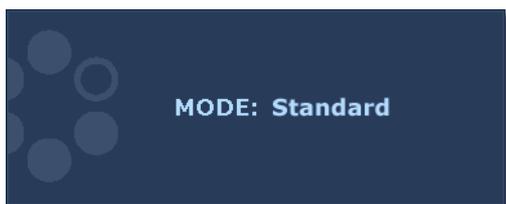
- メインウィンドウの入力ソースがコンピュータグラフィック /PC ビデオ信号 (D-sub、DVI、HDMI、コンポーネント) から取り込まれている場合、PIP ウィンドウのビデオ入力ソースを示すメッセージが切り替わります。



- メインウィンドウの入力ソースがビデオ信号 (コンポジットか S-Video) から取り込まれている場合、PIP ウィンドウのコンピュータグラフィック /PC ビデオ信号を示すメッセージが切り替わります。



## モードホットキー



このキーを押し続けると、メインウィンドウの5つのモード(スタンダード、ムービー、ダイナミクス、フォト、sRGB)を切り替えることができます。設定は直ちに反映されます。

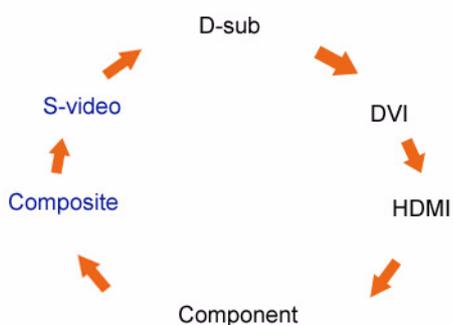
[37 ページの「画像モード」](#)も参照してください。

## Input /Swap (入力 / 切り替え) ホットキー



PIP 機能が有効になっているときに Input/Swap (入力 / 切り替え) キーを押し続けると、メインウィンドウの入力ソースを選択したり、メインウィンドウと PIP ウィンドウの入力信号を切り替えたりすることができます。入力ソースを指定するには、選択した入力ソースのメッセージが表示されたら(約3秒間表示されます)キーを放してください。設定は直ちに反映されます。

- PIP 機能がオフになっているときには、コンピュータグラフィック /PC ビデオ入力ソースかビデオ入力ソースのどちらかを選択します。入力信号を指定するには、メッセージが表示されているときにキーを放してください。入力信号メッセージは次の順番で表示されます。



☞ コンピュータグラフィック /PC ビデオ入力ソース (D-sub、DVI、HDMI、コンポーネント)、ビデオ入力ソース (コンポジットおよび S-Video)。

- PIP機能がオンになっているときには、メインウィンドウの現在のビデオタイプ(コンピュータグラフィック /PC ビデオまたはビデオ)の各種入力ソースの中から選択します。入力ソースの種類は一定の順番で切り替わります。このキーを押し続けると、現在のメインウィンドウの信号ソースと現在の PIP ウィンドウの信号ソースが入れ替わります。入力信号を指定するには、メッセージが表示されているときにキーを放してください。

現在のメインウィンドウのソースがコンピュータグラフィック /PC ビデオ入力信号から取り込まれている場合は、入力信号メッセージは次の順番で切り替わります。

D-sub → DVI → HDMI → Component → **SWAP**

現在のメインウィンドウのソースがビデオ入力信号から取り込まれている場合は、入力信号メッセージは次の順番で切り替わります。

Composite → S-video → **SWAP**

☞ PIP 機能を使って 2 台のコンピュータグラフィック /PC ビデオソース、または 2 台のビデオソースを表示することはできません。

💡 PIP ウィンドウの入力ビデオソースを指定するには、**Enter** キーを押して選択を行ってください。**28 ページの「PIP ホットキー」**も参照してください。

## メインメニューモード

モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。

MENU (メニュー) キーを押すと、次のようなメインメニューが表示されます。



OSD メニューは 5 種類あります。

1. 表示
2. 画像
3. 画像の詳細設定
4. PIP
5. システム

▲ (上) または ▼ (下) キーを使ってメニューアイテムを選択し、ENTER キーを押すとメニューアイテムの設定が表示されます。

💡 OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、「OSD 設定」の 27 ページの「Language (言語)」を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- 33 ページの「表示メニュー」
- 35 ページの「画像メニュー」
- 37 ページの「画像の詳細設定メニュー」
- 39 ページの「PIP (Picture-in-Picture) メニュー」
- 41 ページの「システムメニュー」

## 表示メニュー



1. MENU（メニュー）キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して表示を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU（メニュー）キーを押してください。

☞ 現在の画像モードはメインメニューの右上隅で確認することができます。詳細は、[37 ページの「画像モード」](#)を参照してください。

アイテム	機能	操作	範囲
自動調整	<p>スクリーン設定を自動的に最適化して調整します。 <i>ikey</i> はこの機能のホキーです。</p> <p>☞ デジタルケーブル（DVI）を使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続する場合は、<i>ikey</i> と自動調整機能は無効になります。</p>	ENTER キーを押すとこのオプションが選択されますので、必要に応じて調整してください。	

水平位置	イメージの水平位置を調整します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	0 から 100
垂直位置	イメージの垂直位置を調整します。		0 から 100
周波数	<p>アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のタイミングを調整します。デジタル入力信号の場合は使用できません。</p> <p>次のトピックも参照してください。24 ページの「<a href="#">画像の最適化</a>」。</p>		0 から 100
フェーズ	<p>アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のフェーズタイミングを調整します。デジタル入力信号の場合は使用できません。</p> <p>次のトピックも参照してください。24 ページの「<a href="#">画像の最適化</a>」。</p>		0 から 63

## 画像メニュー



1. MENU（メニュー）キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して画像を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU（メニュー）キーを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
輝度	<p>明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。</p> <p>☞ この機能は <b>Dynamic Contrast</b> が有効でなければ使用できません。</p>	▲ キーを押すと輝度が上がり、▼ キーを押すと輝度が下がります。	0 から 100
コントラスト	<p>暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。</p> <p>☞ この機能は <b>Dynamic Contrast</b> が有効でなければ使用できません。</p>	▲ キーを押すとコントラストが上がり、▼ キーを押すとコントラストが下がります。	0 から 100
シャープネス	被写体の鮮明さを調整します。	▲ キーを押すと画面の鮮明さが向上され、▼ キーを押すとソフトになります。	1 から 5
カラー設定 - ENTER を押すとカラー設定メニューに入ります。			
標準	ビデオや静止画を自然な色で表示します。これは工場出荷時の標準値になっています。	▲ または ▼ キーを押してこのオプションを選択します。	
薄青	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。		
薄赤	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。		

ユーザー	画像の色合いをユーザー自身で設定することができます。赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることで、画像の色合いを変更します。デフォルトの開始設定値は 50 になっています。この値を下げると画像の各色が変わります。たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。	▲ または ▼ キーの後に ENTER キーを押して、赤、緑または青を選択してください。次に ▲ または ▼ キーを押して色調整を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 赤 (0 から 100)</li> <li>• 緑 (0 から 100)</li> <li>• 青 (0 から 100)</li> </ul>
色のリセット	ユーザー設定色をデフォルト値に戻します。	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• はい</li> <li>• いいえ</li> </ul>
MENU (メニュー) を押してカラー設定メニューを終了します。			
Dynamic Contrast (ダイナミックコントラスト)	この機能はコントラストのレベルを高めることにより、シャープでクリアな画質を実現します。  ☞ ダイナミックコントラスト有効時には、輝度とコントラストの調整はできません。	ENTER キーを押すとこのオプションが選択されます。▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オン</li> <li>• オフ</li> </ul>
色相	表示されるイメージの主要色のレベルまたはメインカラーの混色レベルを調整します。  ☞ 入力ソースが D-Sub または DVI-D のときには、この機能は使用できません。	▲ キーまたは ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライトし、▲ キーまたは ▼ キーを押して値を調整します。	0 から 100
彩度	表示される色の純度や濃度を調整します。  ☞ 入力ソースが D-Sub または DVI-D のときには、この機能は使用できません。	▲ キーまたは ▼ キーを押して値を調整します。	0 から 100

## 画像の詳細設定メニュー



1. MENU（メニュー）キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して**画像の詳細設定**を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU（メニュー）キーを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
画像モード	<p>画面に表示する画像の種類に最も合ったモードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンダード - 基本的なPCアプリケーションで使用します。</li> <li>・ムービー - ビデオを見る時に使用します。</li> <li>・ダイナミクス - 風景ビデオを見たり、ゲームをするときに使用します。</li> <li>・フォト - 静止画を見るときに使用します。</li> <li>・sRGB - プリンタやDSCなどの周辺機器との色を一致させます。</li> </ul>	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンダード</li> <li>・ムービー</li> <li>・ダイナミクス</li> <li>・フォト</li> <li>・sRGB</li> </ul>
デモ	<p><b>画像モード</b>で選択したモードを使って、画像をプレビューします。スクリーンは2つのウィンドウに分割されます。左側のウィンドウにはスタンダードモードで画像が表示され、右側のウィンドウには指定したモードで画像が表示されます。</p>	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オン</li> <li>・オフ</li> </ul>

Overscan	<p>入力イメージがやや拡大されます。イメージの周りに不要なノイズが見られるときに、この機能を使用するとこのようなノイズを消去することができます。</p> <p>☞ 入力ソースが D-Sub または DVI-D のときには、この機能は使用できません。入力ソースがコンポーネント、コンポジット、S ビデオである場合は、この機能はデフォルトによりオンになりますが、入力ソースが HDMI の場合はオフになります。</p>	<p>▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オン</li> <li>・ オフ</li> </ul>
----------	--	--------------------------------	--

## PIP (Picture-in-Picture) メニュー



1. MENU (メニュー) キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押して PIP を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU (メニュー) キーを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
入力	PIP ウィンドウに表示するビデオ入力を選択します。この設定はビデオケーブルの接続タイプを選択するときに使用します。  <b>28 ページの「PIP ホットキー」も参照してください。</b>	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。  ☞ このコマンドを実行すると、2 番目のソースの画像を表示します。したがって、1 台のコンピュータグラフィック / PC ビデオソース (D-sub、DVI、コンポーネント、HDMI) と、1 台のビデオソース (コンポジットか S-Video) の画像を同時に見ることができます。PIP 機能を使って 2 台のコンピュータグラフィック / PC ビデオソース、または 2 台のビデオソースを表示することはできません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンポジット</li> <li>• S-Video</li> <li>• オフまたは</li> <li>• D-sub</li> <li>• DVI</li> <li>• HDMI</li> <li>• コンポーネント</li> <li>• オフ</li> </ul>
サイズ	PIP ウィンドウのサイズを調整します。	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小</li> <li>• 中</li> <li>• 大</li> </ul>
水平位置	PIP ウィンドウの水平位置を調整します。	▲ または ▼ キーを押して値を調整します。	0 から 25
垂直位置	PIP ウィンドウの垂直位置を調整します。		
コントラスト	PIP ウィンドウの画像の暗さと明るさの差異を調整します。	▲ キーを押すとコントラストが上がり、▼ キーを押すとコントラストが下がります。	0 から 100

シャープネス	PIP ウィンドウに表示されている被写体の鮮明さを調整します。	▲ キーを押すと画面の鮮明さが向上され、▼ キーを押すとソフトになります。	1 から 5
--------	---------------------------------	---------------------------------------	--------

## システムメニュー



1. MENU（メニュー）キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ キーを押してシステムを選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ▲ または ▼ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU（メニュー）キーを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
入力	<p>メインウィンドウに表示するビデオ入力を選択します。この設定はビデオケーブルの接続タイプを選択するときに使用します。</p> <p><b>30 ページの「Input/Swap（入力/切り替え）ホットキー」も参照してください。</b></p>	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンポジット</li> <li>• S-Video</li> <li>• D-sub</li> <li>• DVI</li> <li>• HDMI</li> <li>• コンポーネント</li> </ul>

画面モード	<p>この機能は 16:10 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 全画面 - 入力画像をスクリーンに合わせて表示します。縦横比が 16:10 の画像に適しています。</li> <li>• 縦横比 - 入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。16:9 画像はスクリーンの横幅いっぱいに表示され、4:3 画像はスクリーンの高さいっぱいに表示されます。</li> <li>• 1:1 - 入力画像はサイズを変更せずに、そのまま最高解像度で表示されます。</li> </ul> <p>☞ <b>OverScan</b> がオンに設定されている場合、画像スケールは 1:1.05 となります。</p>	<p>▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全画面</li> <li>• 縦横比</li> <li>• 1:1</li> </ul>
OSD 設定 - ENTER を押すと OSD 設定メニューに入ります。			
言語	OSD メニューの言語を選択します。	<p>▲ または ▼ キーを押して値を調整します。</p> <p>☞ 本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• English</li> <li>• Français</li> <li>• Deutsch</li> <li>• Italiano</li> <li>• Español</li> <li>• Polski/日本語</li> <li>• Český/繁體中文</li> <li>• Magyar/简体中文</li> <li>• SICG/BiH/CRO</li> <li>• Română</li> <li>• Nederlands</li> <li>• Русский</li> <li>• Svenska</li> <li>• Português</li> </ul>

水平位置	OSD メニューの水平位置を調整します。		0 から 100
垂直位置	OSD メニューの垂直位置を調整します。		0 から 100
表示時間	OSD メニューの表示時間を調整します。		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5 秒</li> <li>• 10 秒</li> <li>• 15 秒</li> <li>• 20 秒</li> <li>• 25 秒</li> <li>• 30 秒</li> </ul>
OSD ロック	モニタ設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。	<p>▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。</p> <p>☞ OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、ENTER キーを 15 秒間押しすと、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。または、▲ キーか ▼ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [オフ] を選択すると、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オン</li> <li>• オフ</li> </ul>
MENU (メニュー) を押して OSD 設定メニューを終了します。			
DDC/CI*	PC のソフトウェアからモニタ設定を行うことができます。	ENTER キーを押すとこのオプションが選択されます。 ▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オン</li> <li>• オフ</li> </ul>
情報	モニタのプロパティ設定を表示します。	ENTER キーを押すとこのオプションが選択されます。	
すべて元に戻す	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	▲ または ▼ キーを押して設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• はい</li> <li>• いいえ</li> </ul>



\*Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。

## 9. トラブルシューティング

### よくある質問 (FAQ)

#### ② 画像がぼやける：

☞ 22 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」についてのページを読み、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

☞ VGA 延長ケーブルを使用している場合

テストを行うため、延長ケーブルを取り外します。画像の焦点が合っていることを確認してください。合っていない場合は、23 ページの「リフレッシュレートの調整方法」についてのページに記載されているステップに従い、画像の最適化を行ってください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。

☞ ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合

22 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」についてのページをお読みください。ネイティブ解像度を選択します。

#### ② ピクセル エラーが表示される：

☞ 一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合

• LCD スクリーンをきれいに掃除してください。

• 電源のオン / オフを切り替え。

• モニタの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。

#### ② 画像が不自然な色で表示される：

☞ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合

MENU (メニュー) > PICTURE (画像) > Color (カラー設定) > Reset Color (色のリセット) を選択し、CAUTION (注意) メッセージボックスで Yes (はい) を選択すると色の設定がデフォルト値に戻されます。

それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3 つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

#### ② 画像が表示されない：

☞ ディスプレイのプロンプトが緑色に点灯している場合

LED が緑色に点灯し、画面に「Out of Range」というメッセージが表示されている場合は、モニタがサポートしていないディスプレイモードを使用しています。モニタがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。「46 ページの「対応する PC タイミング」」のセクションをお読みください。1920 x 1200 @ 60Hz を推奨。

#### ② スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります。

• 省電力機能を有効にして、コンピュータとモニタを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。

• 画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

#### ② ディスプレイのプロンプトがオレンジ色に点灯している場合

LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

☞ ディスプレイのプロンプトがまったく点灯しない場合

電源のメインソケット、外部電源、メインスイッチをチェックしてください。

② 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく：

☞ [22 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」](#)についてのページを読んで、正しい解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

☞ モニタは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます。

異なる入力ソースの画像は、モニタの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力ソースを最高の状態で表示するには、[画面モード] で入力ソースに合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、[42 ページの「画面モード」](#)を参照してください。

② 画像が片側に寄ってしまう：

☞ [22 ページの「スクリーンの解像度の調整方法」](#)についてのページを読んで、正しい解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

② OSD コントロールにアクセスできません：

• OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、ENTER キーを 15 秒間押し、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。

• または、▲ キーか ▼ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [オフ] を選択すると (システムメニュー)、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。

## それでも具合が悪いときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、[servicejp@BenQ.com](mailto:servicejp@BenQ.com) まで電子メールにてお問い合わせください。

## 10. 対応する PC タイミング

入力ディスプレイ モード (入力タイミング)				
解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	備考
640 x 350	31.47	70.08	25.17	DOS
720 x 400	31.47	70.08	28.32	DOS
640 x 480	31.47	60.00	25.18	DOS
640 x 480	35.00	67.00	30.24	Macintosh
640 x 480	37.86	72.80	31.50	VESA
640 x 480	37.50	75.00	31.50	VESA
800 x 600	37.88	60.32	40.00	VESA
800 x 600	48.08	72.19	50.00	VESA
800 x 600	46.87	75.00	49.50	VESA
832 x 624	49.72	74.55	57.29	Macintosh
1024 x 768	48.36	60.00	65.00	VESA
1024 x 768	56.48	70.10	75.00	VESA
1024 x 768	60.02	75.00	78.75	VESA
1024 x 768	60.24	74.93	80.00	Macintosh
1152 x 864	67.50	75.00	108.00	VESA
1152 x 870	68.68	75.06	100.00	Macintosh
1152 x 900	61.80	66.00	94.50	SUN 66
1152 x 900	71.81	76.14	108.00	SUN
1280 x 960	60.00	60.00	108.00	VESA
1280 x 1024	64.00	60.00	108.00	VESA
1280 x 1024	75.83	71.53	128.00	IBMI
1280 x 1024	80.00	75.00	135.00	VESA
1280 x 1024	81.18	76.16	135.09	SPARC2
1600 x 1200	75.00	60.00	162.00	VESA
1920 x 1200	75.00	60.00	162.09	VESA

• 画像の乱れは、通常の規格に対応していない VGA カードによる信号周波数が異なるために発生している場合があります。ただし、これはエラーではありません。自動設定を変更したり、[DISPLAY (表示)] メニューから位相設定とピクセル周波数を手動で変更することで、状態を改善できます。

• 本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。

## 11. 仕様

モデル	FP241W
ディスプレイタイプ	24.0”、アクティブ、TFT
表示可能エリア	611.32 mm
最高解像度	1920 x 1200
色	1670 万色
コントラスト/明度	1000:1 / 500 cd/m <sup>2</sup>
Dynamic Contrast (ダイナミックコントラスト) 率	2000:1 (標準)
応答時間	16 ms 6 ms (GTG)
表示角度 (左/右、上/下)	178, 178 (CR≥10)
ラインの周波数	30 - 81 kHz マルチ周波数モニタ
画像の周波数	56 - 76 Hz モード (これらのパラメータ範囲内)
画像診断 コントロール 機能	デジタル、OSD テクノロジー、 <i>i</i> key (自動画像設定) 7 個のキーと <i>i</i> key コントラスト、輝度、画像の垂直位置と水平位置、フェーズ、周波数、カラーバランス、カラーパレット、色相、彩度、シャープネス、マルチ言語の OSD、OSD の位置、OSD ロック、入力選択、PIP 入力選択、PIP 調整、画像モード、デモ、画面モード、DDC/CI*、ダイナミックコントラスト、Overscan
省電力機能 最高消費電力 電力消費スタンバイ	VESA DPMS, EPA < 95 W (USB ポートなし) < 2 W   This product complies with ENERGY STAR® Program Requirements for Computer Monitors. Version 4.0.
入力信号	RGB アナログ 0.7 Vpp/75 Ohm +、DVI-D、コンポジット、コンポーネント、S-Video、HDMI
同期	TTL 分離信号接続 15-pin mini D-sub ケーブル
温度 (操作時)	0 °C - 40 °C
湿度 (操作時)	10% - 90%
証明書	TCO 03、TCO 06、TÜV/Ergonomics、TÜV/GS、FCC クラス B、ISO 13406-2、VCCI、CB Report、CE、C-Tick、BSMI、Fimko、GOST、CSA、CCC、MIC

操作電圧	自動切換えモードの電源供給 100-240 V, 50-60 Hz
傾斜 (下 / 上)	-5° ~ +20°
左右回転	45°/45°
最高	130 mm
Pivot	0° ~ 90° (右回り)
寸法 (高 x 幅 x 奥)	474.2 x 567 x 248.4 mm
重量	10.6 kg

\*Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。